

安藤春夫博士略歴および著作目録

略 歴

明治34年（戸籍33年）2月15日宮城県に生れる。

昭和8年3月28日 東京商科大学卒業。

同8年7月10日 東京商科大学補手。

同10年8月31日 東京商科大学助手。

同11年12月12日 東京商科大学商学専門部教授（財政学担当），専門部主事補

同24年11月1日 東北学院大学講師兼任。

同26年12月31日 東北学院教授（財政学，経済統計論，経済哲学，商業学概論担当）。

同36年5月26日 経済学博士の学位を授与される。

同40年8月25日 東北学院大学教授依願退職。

同年9月以降 千葉敬愛経済大学の設立に参加。

同41年4月1日 千葉敬愛経済大学教授，経済学部長兼任，現在にいたる。

同42年4月1日 同大学附属図書館長兼任，現在にいたる。

同45年10月1日 同大学教務部長兼任，現在にいたる。

なお，産業機械統制会 理事長室調査課長，のち東北支部長。宮城県経済会 理事兼事務局長。東北機械工業協議会 理事兼事務局長。経済安定本部 事務官 財政学会 理事。等を歴任。現在は財政学会 監査。経済学会連合 評議員として在職中。

取得資格

昭和23年11月27日 経済統計教授。

同24年3月14日 財政学，商学概論 各教授。

同38年10月30日 財政政策論，経済哲学，地方財政論，各教授。

文部省研究補助費

昭和28年9月 封建財政の崩壊過程の研究に対し，文部省より研究補助を受ける。

同30年9月 封建財政の崩壊過程の研究に対し，文部省より研究補助費を受ける。

同32年9月 封建財政の崩壊過程の研究に対し，研究成果刊行補助金を受ける。

著 書

国家経済と公債経済，昭和11年8月，同文館。

取引税の研究，昭和12年6月，同文館。

同業組合の史的発展——座の研究——（小売商問題研究叢書所収），昭和12年11月，同文館。

公債論（新経済学全集所収），昭和15年12月，日本評論社。

経済新体制の再出発，昭和16年7月，同文館。

封建財政の崩壊過程，昭和32年10月，酒井書店。

財政学原理，昭和33年10月，酒井書店。

財政本質学説，昭和46年9月，酒井書店。

そのほか，商業経済関係の教科書，8種。

論 文

（終戦前の50論文を省略し，戦後のみを掲げる）

封建財政整序の一節，昭和25年6月，東北学院大学論集，第4号。

封建政財の崩壊過程(1)，昭和26年11月，同5号。

封建財政の崩壊過程(2)，昭和27年12月，同7号。

雑税の研究(1)，昭和28年11月，同12号。

雑税の研究(2)，昭和29年11月，同15号。

雑税の研究(3)，昭和30年5月，同18号。

財政学の源流とケインズ財政学，昭和33年7月，同（経済編）。

機能財政論の構造，昭和34年，同（経済編）特別35・36号合併号。

公債理論の変容，昭和35年10月，井藤半弥博士退官記念論文集，千倉書房。

松野賢吾著『財政学の新動向』，昭和37年5月，国民経済雑誌第105巻第5号。

経費論の財政学的限界——高木博士の教示を仰ぐため——昭和37年9月。花戸竜蔵博士古稀記念論集，千倉書房。

購買力の強制的移転説——分析と批判——昭和43年11月，千葉敬愛経済大学研究論集，第1号。

財政本質二元説，昭和45年9年，同第3号。